

## ◇現代社会と青年◇

## 若者の「人間力」の育て方

株式会社キャリアコンサルティング  
代表取締役社長

むろだて  
いさお  
室館 勲



弊社では毎月「スピリット賞」「人間力賞」という二つの表彰制度があります。受賞した社員には、全社員が集まる朝礼で経緯を発表してもらっています。

スピリット賞とは、多部署への貢献をした社員を表彰します。一体感と厚みのある組織を目指して作られた表彰制度です。

人間力賞とは、会社外で公に貢献した人を表彰します。リーダーシップの基礎力を重視し人間力を教えている企業として、言行一致していることを称えて表彰しています。今回は人間力賞の中からエピソードを紹介します。

四国のある美術館に鑑賞にいった社員Tさんの話。展示内容が素晴らしく、大変満足したそうです。ところが、入口に飾られていた各国の国旗の大半が、端の方がボロボロになっていたようです。他国の国旗がこれでは、海外の方が訪れたときに礼を失してしまうと思い、美術館に連絡をして状況を伝えました。

すると「普段は頻繁に取り替えているのですが、連日の台風の影響で疎かになっていました。ご連絡いただいて本当に有難うございます。すぐに手配しました」と返答をいただいたそうです。

Tさんは普段はそういうことをするタイプではなかったそうです。しかし、先輩社員の行動を見聞きしていたので、自分もそのような行動ができたのではないかと話していました。

入社二年目のYさん。バスに乗っていると、女子中学生が気持ち悪そうにしていて、急に嘔吐してしまいました。Yさんは、サツとスーツの上着を脱いで嘔吐物を覆い、バスを降りるまで付き添ってあげました。大変感謝されたそうです。

「新しいスーツだったので一瞬ためらいましたが、思春期の方だと嘔吐物を見られるのも恥ずかしいと思って……」と爽やかに笑っていました。

Yさんも人間力賞を受賞した先輩の発表を聞いていたので、とっさの行動ができたのではないかと話していました。

若手社員は先輩社員の後ろ姿を見えています。先輩社員は幹部やトップの姿を見えています。

詰まるところ、人間力に満ち溢れた若者を育てるには、先輩がそのように努めて行動し、経緯を話し、価値観を共有することが大切なのだと思っています。